



#001 力士 山中 裕貴さん

利根町にゆかりのある人や企業など、様々な分野で活躍されている方々を応援するコーナー「シリーズ まちなひとしごと」。第1回目に紹介するのは、利根町出身で、現在、龍ヶ崎市佐貫にある相撲部屋「式秀部屋」に所属している力士 山中裕貴さんです。



牛久市出身の横綱稀勢の里や土浦市出身の髙安などの活躍により、今、茨城県出身の力士が注目されています。そんな中、利根町のお隣、龍ヶ崎市佐貫にある相撲部屋「式秀部屋」には、将来が期待されている利根町出身の力士がいることをご存知でしょうか。
第一回目となる今回は、大学卒業後に一度は就職したものの夢を諦めきれず、相撲の世界で勝負することを決意して頑張っている利根町出身力士の山中裕貴さんと、師匠である式秀部屋式守五郎親方にお話をうかがいました。

親方にお話をうかがいました



式秀部屋 式守五郎親方(左)と、利根町出身の力士 山中裕貴さん(右)

特 別に身長が大きいわけでも体重があるわけでもないが、もともとレスリングや合気道などをやっていたので、センスは良いものを持っていると思います。

また、稽古が終わった後でも、場所中でも、ひとりで黙々とトレーニングをしていて努力を欠かさず、誰に対しても礼儀正しく、教えたことへの素直さもあり吸収や飲み込みが早いなど、素質はあると思います。
脱臼クセがあり、大阪場所前の稽古で肩を脱臼しましたが、整骨院での知識と経験があるので、その後のケアも自分でちゃんと出来ていました。
この世界は怪我との戦いなので、怪

力士 山中裕貴さん
インタビュー
角界入りを決意したきっかけを教えてください

中 学生時代から合気道やレスリング、柔道など様々な格闘技を続けてきて、自分は、投げ技や崩し技が得意で好きだったこともあり、相撲の動きには、昔からすごく興味を持っていました。

昨年春に大学を卒業後、整骨院へ就職し一度は社会人として働いていたのですが、体力的にも精神的にも「自分はまた戦える、格闘技の世界でまた勝負してみたい。」との思いが強くなり、22歳の半ばに、相撲という新たな戦いの中で、自分を磨いて、戦っていかうこと、式秀部屋への入門を決意しました。

反対などはありませんでしたか

自 自分が相撲の世界で勝負したい。と考えていることを、母はなんとなく感付いていたようでしたが、父は何も知らなかったようです。両親へ話す前に部屋には連絡をしてあり、それから両親に打ち明け納得してもらいました。
整骨院の仕事を辞めるときは、社長などからもだいたい驚かれましたが、今では「応援するから」と背中を押してくれていて、こちらからも場所ごとに番付表を送らせていただいています。

我さえしなければ将来が楽しみな力士です。
入門してまだ一年も経っていないので、相撲の技術的にはまだまだ荒削りですが、大阪場所最終日では、精神的には幕内にも引けをとらないようなとても良い相撲を見せてくれました。力を出し切ったので、翌日には熱を出すほどの大勝負でしたが結果は負けしてしまいました。

しかし、今は勝って喜んでいるよりも、負けて悔しがつているほうが次に向けての力になると思っています。



式秀部屋といえば、ユニークな四股名で有名ですが

弟 子の四股名については、特にユニークにしているつもりはないのですがインパクトがあるもの、覚えて貰って応援してもらえそうな四股名を付けてやりたいと考えています。

山中の四股名についても、本人が頑張れる、そして多くの方に応援して貰えるような四股名をつけてやりたい。
出身の利根町の方々にも応援していただきたいので「利根町」にちなんだ四股名も候補として考えているところです。

「まだ戦える」諦められなかった勝負への思い

休日の過ごし方を教えてください

休 みの日は、できるだけ体の回復にとつとめストレッチなどで体のケアをしたり、どうやったら相撲が強くなるのか、鏡を見ながらフォームを確認したりして過ごしています。
そして、とにかく休みの日には、ちゃんこをたくさん食べて体重を増やすことに専念しています。

これからの目標を教えてください

当 面の目標は、とにかく一日も早く相撲を覚えて、序二段の上位に行きたいです。そして、3年後までには、幕下、できれば十両を目指したいと思っています。



最後に、利根町の子どもたちへメッセージをお願いします

自分もまだまだ未熟者なのですが、これまでの人生、自分が決めた道だけは信じて突き進んできました。一度信じた道や夢を糧にして折れても前へ進むことが重要だと思っています。
自分の好きな言葉に「百折不撓」という言葉があって、何回折れても立ち上がるという意味なのですが、自分にも今までのような挫折がありました。心根にある「強くなりたい」という思いだけを信じて突き進んできました。これからは夢を信じて折れずにまっすぐ進んでいきたいと思っていますので、応援よろしく願います。



山中裕貴 (やまなか ゆうき) さん
平成5年11月11日生まれ 23歳
身長172cm 体重108kg
利根町出身
国際武道大学卒業
レスリングジュニア国体5位
JOC(ジュニアオリンピックカップ) 日本大会3位
大学卒業後、整骨院へ就職するも、格闘技への夢を捨てきれず角界への転身を決意。2016年9月に龍ヶ崎市の式秀部屋(親方 式守 秀五郎)へ入門。3月大阪場所での番付は序二段の東80枚目。戦績は4勝3敗と勝ち越し、5月場所の番付は序二段の東46枚目となる。
初土俵 平成28年9月
好きな言葉 「百折不撓」

式秀部屋 (しきひでべや)

師匠: 元幕内北棧 式守 秀五郎
住所 龍ヶ崎市の佐貫 4-17-17
「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに掲げた教育方針や、「爆羅騎源氣(ばらきげんき)」、「桃智桜 五郎丸(ももちざくら ごろうまる)」、「宇瑠虎 太郎(うるとら たろう)」など、個性的な四股名を弟子に命名する等、ユニークな相撲部屋として度々マスメディアで取り上げられている。



1. 外国からのツアー客が稽古の見学に訪れることもあるそうです。2. 真剣に稽古に取り組む力士たちも、稽古が終われば気さくに記念撮影に応じてくれます。3. 「山中は、将来が楽しみな力士です。利根町の方々にもぜひ応援していただきたい。」と話す式秀親方 4. ちゃんこをたくさん食べて体をつくることも大切な稽古 5. 「3年後には幕下、できれば十両を目指したい。」と意気込みを語ってくれた山中さん(左)と「利根町の方も部屋へ遊びにきてください。」と語る女将めぐみさん(右)

町では、山中さんの活躍をこれからも応援していきます。今回取材させていただいた式秀部屋では、事前に予約をすれば稽古の見学やちゃんこの試食などが体験できるそうです。普段なかなか見ることのできない相撲部屋の雰囲気や稽古を体験してみたい方はぜひいかがですか。また、式秀部屋及び力士の応援を目的とした後援会「チームさくら式」では、後援会員を募集しています。本場所の升席チケットの手配も承るなど、特典多数です。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

式秀部屋後援会「チームさくら式」事務局 見学予約用 TEL 080-5536-1440 FAX 0297-66-9836 URL <http://www.kitazakura.com/>